

令和5年度 第2回 稲城市子ども・子育て会議 議事録（要旨）

開催日時 令和6年1月31日（水）14時～14時40分

開催場所 稲城消防署3階講堂

出席者

【委員】※五十音順（敬称略）

	氏名	区分	組織名
	浅田 陽子	児童福祉関係機関に属する者	おやこ包括支援センター （あそびの広場向陽台担当主幹）
	安東 絵美	児童福祉関係機関に属する者	認可外保育施設代表 （認証保育所 ピノキオ幼児舎稲城園園長）
会長	市野 繁子	学識経験者	駒沢女子短期大学保育科教授
副会長	伊藤 裕子	教育・保育施設に関する関係団体の代表者	私立保育園園長代表 （若葉台バオバブ保育園園長）
	角田 享	教育・保育施設に関する関係団体の代表者	認定こども園代表 （学校法人子どもの森 理事長）
	角口 真梨子	子どもの保護者	稲城市立学校 PTA 連合会代表
	寺島 彰	一般公募による市民	一般公募
	藤野 由実	教育・保育施設に関する関係団体の代表者	私立幼稚園代表 （コマクサ幼稚園園長）

※欠席委員：岩本 綾華（児童福祉関係機関に属する者）、佐藤 久美子（児童福祉関係機関に属する者）、奈良部 義彦（労働者を代表する者）、渡邊 貴子（子どもの保護者）

【事務局】子ども福祉部長：岡野、子育て支援課長：森、児童青少年課長：篠崎、子ども家庭支援センター課長：野木、おやこ包括支援センター課長：蒔田、障害福祉課長：眞下、生涯学習課長：工藤、子育て支援課保育・幼稚園係長：伊藤、児童青少年課青少年係長：武内

- 配付資料**
- 資料1 令和5年度稲城市子ども・子育て会議委員名簿
 - 資料2 第一次稲城市こども計画策定スケジュール
 - 資料3 第一次稲城市こども計画のニーズ調査について
①就学前児童の保護者、②小学生の保護者、
③小学生・中学生、④青少年・若者、⑤妊娠中の方
 - 資料4 第一次稲城市こども計画 ニーズ調査方法
 - 資料5 （仮称）稲城市こども会議の概要（案）について

議事の要旨

1 第一次稲城市こども計画の策定スケジュールについて

児童青少年課から、資料2に基づき説明があった。

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	パブリックコメントについて、こどもに対して行う方法について説明いただいた。一般とも記載があるが、一般向けは行わないのか。
児童青少年課	広報やロゴフォームを使って一般向けのパブリックコメントを実施しようと考えている。

2 第一次稲城市こども計画のニーズ調査について

児童青少年課から、資料3・資料4に基づき説明があった。

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	200項目近くのアンケートはどうなのか。親目線からすると質問の量が多いと感じた。もう少し絞られた方がいいのではないかと思った。
事務局	調査しなければいけない項目もあり多くなってしまっている。回答時には、回答の内容に応じて、表示される質問が絞られるようにしている。
委員	スマートフォンで閲覧できるようになるのか。
児童青少年課	スマートフォンでの回答もできる。
委員	今まで子ども・子育て支援事業計画を第一次、第二次と作ってきた。今回、こども計画になると中身の違いはどのような点があるのか。
児童青少年課	国のこども大綱が出たことにより今回こども計画を策定する。少子化・貧困・若者に関する計画をひとつの計画にできるとなったことにより、稲城市ではこれらをまとめたこども計画を策定する。子ども・子育て支援事業計画も引き継がれていく。
委員	これまでの子ども・子育て支援事業計画から省かれる項目もあるのか。
児童青少年課	子ども・子育て支援事業計画において、他計画で進捗管理していると表記されている項目は除かれる予定である。
委員	ニーズ調査の中身についての意見もいただきたいということか。
児童青少年課	中身については、公開までは編集可能であるため、それまでの間に後日ご意見をいただくことも可能。

3 こども会議について

児童青少年課から、資料5に基づき説明があった。

4 その他

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	子ども・子育て支援事業計画からこども計画にかわり、全体の項目の組み立てが分からない中、策定が間に合うのか。
----	---

児童青少年課	現在項目については、コンサルと調整をしている。
委員	稲城としてどうするかということを入れた計画だと思う。稲城らしさを反映できるものであってほしい。
事務局	丁寧に稲城らしさを考えながら進めていければと思う。
委員	今までの計画にどのように付け加えていくのか検討してほしい。
委員	委員の意見を伺いながら、計画策定を進めてほしい。